

## 党中央政治局会議気づきの点

田中 修

11月27日に開催された党中央政治局会議について、気づきの点は以下のとおりである。

### 1. 中央経済工作会議の開催時期が示されていない

例年、この政治局会議で日程が発表されている。中央経済工作会議は前倒しで月末にも開催されるという情報が流れていたのに、日程すら示されないということは、経済政策の内容について論争が存在するということであろう。

### 2. マクロ・コントロールの重点とされていた「経済の比較的速い発展の維持・経済構造の調整・インフレ期待のしっかりとした管理」という表現が盛り込まれていない

特に、重点が「インフレ期待の管理」なのか、「インフレないし資産バブルの管理」なのかがもめているのではないか。

### 3. 包括的計画について従来「全面的に実施し、かつ不断に充実させ」とされていたのが、「実施し、豊富に整備する」とされている

「豊富」という言葉には、「変更」というニュアンスがある。例えば、「鄧小平理論は毛沢東思想を豊富に発展させた」という言い方がある。「全面」が消え「豊富」が加わったことは、4兆元投資を含む包括的計画を無理に完全実施すると、投資過熱が発生するという懸念が生まれてきたのではないか。今後、重点配分の見直しが行われる可能性がある。

### 4. 重点項目は5つである

経済成長の質・効率の引上げ

経済発展方式の転換と経済構造調整

改革開放と自主的なイノベーションの推進、経済成長の活力・動力の増強

民生の改善、社会の調和のとれた安定の維持

内外の2つの大局を統一的に企画

以上により、経済の平穏でかなり速い発展の実現に努力する、とされている。

### 5. 非政府部門の重視

消費については、低所得層の消費能力の増強、消費促進政策の整備、

投資については、合理的な伸び、民間投資を奨励する関連政策の整備・実施、が強調されている。

以上